

公立高校前期選抜の発表について

2月24日(火)に公立高校前期選抜の合格発表が行われます。

受検者全員が合格となることを願っていますが、発表されている志願者数を見ると、厳しい結果が出ることも覚悟しておく必要があると思います。

ただ、前期選抜が残念な結果となっても、普通科や職業に関する専門学科では「中期選抜」で再挑戦ができるので、中期選抜でよい結果が得られるよう、受検準備を進めていきます。

以下に合格発表に関する注意点を示すので、内容を十分に理解してください。

まず前期選抜を受検した人は、終学活後、一旦帰宅し、受検した高等学校に行くこと。受検の時と同様、自転車の乗り入れや携帯電話を持参することは厳禁です。

(1) 合否の確認について

<発表時刻:発表場所>

2月24日 火曜日 14:00~16:00 願書提出先高等学校(受検した高等学校)
午後2時より早く会場に行く必要はありませんが、出来るだけ早い時間帯に確認してください。

<持ち物> 受検票 生徒手帳(得点の開示に必要です) 開示のメモ用紙
筆記用具

<発表形式> 受検番号で発表されます。

(2) 合否確認後

合格者には各種の書類等が渡されます。必ず窓口で受け取ってから、テスト結果の開示を受け(後で説明します)、会場から寄り道などせず自宅に帰り、電話で3年生担当の先生に報告してください。(先生方の準備等のため、14時30分以降にしてください。)また、再登校は禁止です。担任の先生を中心に、不合格となった生徒との対応・相談に入るためです。なお、受検会場等(翌日以降の学校でもそうですが)では、嬉しさからはしゃぎたくなる気持ちはわかりますが、不合格となった人もいること

を忘れず、節度ある行動を取りましょう。

残念ながら、不合格の場合は、学校に登校してください。担任の先生と面談の上、中期選抜の出願準備を進めます。

※webでの合否確認について

公立高校の合格発表は、webでも行われますが、原則受検した高等学校での掲示により合否を確認し、合格校において合格通知書の交付を受けるようにしてください(私立高校でweb発表が行われた際、アクセスが集中し発表開始後2時間たってやっと結果が見られる例がありました)。必ず受検校に足を運んでください。その際、各高校でも現地で指示があると思います。また、web利用の際は、各個人の合否に関わる重要な内容ですので、webを利用したことで、トラブルにつながるようなことがないように、くれぐれも気をつけるようにしてください。

(3) 得点の開示について

合格発表後から3月23日(月)までの期間に、受検生本人が希望すれば、学力検査の得点の開示を受けられます。開示の際にメモするための用紙を渡すので、生徒手帳(生徒手帳の代わりに、マイナンバーカード等で受検生本人と確認できる書類でよいと記載されている学校が多いです。受検票と共に渡した注意事項を読んでください。)と筆記用具、学校より配布するメモ用紙(開示結果を書く)を持って行ってください。

開示された結果は、中期選抜を出願するときの参考として、また来年度以降の資料としても重要な情報です。是非発表後すぐに開示を受け、学級担任の先生に所定の用紙を提出することによって、得点を伝えてください。

<開示の受け方>

発表当日午後4時までに、受検高校の指定された窓口に行き、受検票と生徒手帳等を示せば、開示を受けられます。(後日でも開示を受けられますが、この日に受ける方が手間が省けます。是非協力してください。)

公立高校中期選抜の願書提出について、裏面に記載しています。必ず読んでください。

公立高校中期選抜の願書提出について

公立高校を第1希望としている場合、大変重要な内容です。

公立前期選抜の合格発表から中期選抜の出願日まで、あまり日がありません。以下の内容を御熟読ください。

公立高校の選抜試験では、中学校で「志願者名簿」と願書一式をまとめて志願先高等学校に提出する必要があります。(よって、1人でも願書提出が遅れると高等学校へ提出する名簿作成ができません)。

中学校としても各受検生や受検生の保護者の方の判断を尊重し、その希望に沿って出願事務を進めようと考えております。最終的な志望校名の決定は、京都府教育委員会が前期選抜合格発表直後に公表する「志願者状況」を見て判断したいという御家庭もあろうかと思えます。しかし、これまでの進路希望の確認の中で、学校の特色などいろいろ考えた中で進路希望決定をしてきたと思えます。「進路希望確認書」で希望を確認していることもあり(変更される場合は保護者との三者懇談等、十分確認の上すすめるべきと考えますが、その時間はほとんどありません)、「自分が行きたいと思う学校」を受検すべきと考えます。

<出願書類等の最終提出日について>

(1) 受検料(全日制2200円、定時制900円)について

第一志望第1順位の学校により対応が異なります。ご注意ください。

府立高校を第一志望第1順位とする場合は、学級担任から24日に「納付書」をお渡します(中期選抜から受検する場合は24日の終学活時、前期選抜の結果中期選抜を受けることになった場合は、24日再登校時に渡します。)。コンビニエンスストアなどでお支払いいただき、25日朝に納付書の一番右側の部分を担任に渡してください。

市立高校を第一志望第1順位とする場合は、2月25日朝に現金を担任まで提出してください。本校で、京都市の領収書を購入します。(本校の教員が買いに行きます。)

納付書または現金は、封筒に入れ、氏名と第一志望第1順位の高校名を記入しご提出ください。

(2) 最終の入学願書の提出メ切厳守 2月26日(木)朝

この日の朝の段階で、志望高校確定です。

※京都府教育委員会から示される「京都市・乙訓通学圏の普通科第一順位」志願者状況を25日(水)に配布します。この資料は、2月24日午後5時段階で集計された数字であって、確定数ではないことにご注意ください。

<願書の「志望欄」の書き方について>

志望欄を書くにあたっての注意点です。もう一度ご確認ください。

(1) 中期選抜では、第一志望第1順位に加え、第一志望第2順位と第二志望の欄にも希望校を記入することができます。このうち、第二志望は、志望した高校が「定員割れ」を起こした場合のみ合否判定が行われます。

また、第2順位は、ステップ2(中期定員の10%が決定されます。)の判定対象になります。第1順位校以外で進学したい高校がある場合は、その高校名を記入してください。ただし、第2順位校の合否は、その高校(学科)のステップ1で不合格になった生徒も判定対象となります。たとえばステップ1の合否判定基準が200点のA高校を第1順位とし、判定基準が250点のB高校を第2順位とすると、自分よりも高得点の人と合否を競うことになり、合格の可能性は低くなります。

(2) 第1順位に普通科、第2順位に専門学科を志望する事も(逆も)可能ですが、全日制と定時制を併記することはできません。

(3) 公立高等学校については、合格された場合は、必ずその高校に進学していただくこととなります。私立併願校の方が希望順位が高い場合には、第2順位を記入されないよう御注意ください。

上記の事を十分御理解いただいた上で、志望欄を記入してください。